

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光学入門	1	前期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機をみると「必修科目である」84.3%、「関心のある内容である」32%、「単位数を確保する」11.8%となっている。学生の関心を引き出し、多くの学生が勉強したい科目になるように、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は88.98点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解、態度に関しては、それぞれ100%、技能表現に関する問題はそれぞれ98%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。図書館やインターネットの利用に関しては、それぞれ7.8%、43.1%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、態度、技能表現に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光学入門」であるが、「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価は良かった。「説明は理解しやすいものであった」、「評価基準は明らかであった」に関しては、それぞれ90%、94%で、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」に関しては、それぞれ94%、98%で「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ94%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある「観光学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、態度、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国内旅行実務	1	前期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目に対する学生の受講動機をみると、「資格取得に必要である」と答えた学生が80%であり、「単位数を確保する」と答えた学生の35%を超えている。これは本科目に対する期待の表れであると言える。授業においては、日本各地のさまざまな観光資源の単なる説明にとどまることがないように、歴史、風土、民俗、食文化など背景を踏まえて丁寧に説明することに重点を置いている。また、各地の地形や気候環境が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについても詳しく説明するように心掛けている。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	DPの平均値は「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目が3.5である以外は、すべて3.9以上である。本科目が各地の観光資源に関する知識の習得を一つの目標としていることを鑑みると、本科目の教育目標は達成できたと考えることができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「観光に関する科目」の一つであり、観光学および観光ビジネスの基礎となる性格を有していることから、内容的妥当性については問題がないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、平均値の大半が3.6～4.4と総じて高いことから学習目標は達成できたと考えている。知識の習得という学習目標が主となるため、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目は3.6と他の平均値より低い結果となったが、今後は発表の機会を設けるなど、次年度に向け検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は「国内旅行業務取扱管理者試験」を目指す学生の多くが履修しており、授業に積極的な学生が多い。今後の授業においてもできるだけわかりやすく丁寧な講義となるよう心掛けていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光関連法規	1	前期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「観光に関する科目」に位置付けられており、旅行業法や旅行業約款など旅行関連の法律を取り扱っている。授業においては、旅行業法および旅行業約款の成り立ちから逐条解説をおこない、理解すべきポイントなどをわかりやすく説明することを心掛けている。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 < 授業評価の指標 > 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度自己評価項目の「コミュニケーション力を深める」、その他の項目の平均値が3.4～4.5であること、また自由記述に「新しい知識が増えてうれしかった」という記述があったことから、全体としては達成されたと判断できる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は1年次に配当されている「専門教育科目」の「観光に関する科目」である。観光学の基礎や観光ビジネスを学ぶ基礎としての位置付けという意味では内容的妥当性があると言える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、各項目の平均値が3.5～4.6と比較的高いことから学習目標は達成できたと考えている。ただし、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目は平均値が3.5とやや低いため、この点については今後学生に発表の機会を設けるなど授業を工夫していきたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は「国内旅行業務取扱管理者試験」を目指す学生の多くが履修しており、授業に積極的な学生が多い。法律科目という性格上、難しい内容になりがちであるが今後もうできるだけわかりやすく丁寧な授業となるよう心掛けていきたいと考えている。

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
海外旅行実務	2	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本来であれば、この科目は総合旅行業務取扱管理者試験の対策講座のような目的を持った授業であるが、残念ながらここ数年は、国内旅行業務取扱管理者の試験にさえも合格しない者が多い。そこで、大多数を占めるであろう国内旅行業務取扱管理者試験受験希望者のために、取り上げる内容の比重を考慮するようにした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				やや達成されなかった
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	「不可」となった受講生が3名いた。かなり内容を絞って授業に臨んだつもりであったが、それでも授業内容を理解できなかった受講生が3名いたことについては、重く受け止めたい。現時点では、どこに問題があったのかが、きちんと分析できていない。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	妥当である。この科目は、国内旅行業務取扱管理者試験にも総合旅行業務取扱管理者試験にも対応できる内容であり、今回については学生の理解度を考慮して国内旅行業務取扱管理者試験の内容に重きを置いた授業を実施した。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	前述のように、内容を絞り込んで授業に臨んだが、それが結果として出てきていない。内容そのものでないとなれば、授業の技術の問題であり、授業方法を再考する必要を痛感している。これまで行っていなかったグループワークを取り入れるなどして、その成果に期待をしたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	十分に計画をして臨んだ授業であったにもかかわらず、期待していた成果が出ておらず、今後は大幅な授業の見直しをする必要がある。前述のようにグループワークを取り入れ、これまでには出していなかった課題を出すことで、受講生の授業内容の理解が深まるようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光マーケティング論	3	前期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」、「単位数を確保する」に関しては、それぞれ47.8%、65.2%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備を工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④観光を学ぶ学生たちに観光産業及び観光地域でのマーケティング事例を分かりやすく紹介し、それらの事例を通して、観光マーケティングの魅力とその理論のエッセンスを理解してもらうことを工夫した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は87.3点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては82.6%、思考判断に関しては、82.6%、意欲関心に関しては、78.2%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館やインターネットの利用に関しては13.0%で、図書館やインターネットの利用についてはさらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光マーケティング論」となっており、インバウンド観光における観光マーケティングを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価は良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ78.2%、86.9%、82.6%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光マーケティング論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心のレベルを高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
宿泊産業論	3	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業は、配当学年が3年生ということもあり、専門的な内容となっている。 本講義では、ホテルの起源より始まり、ホテルマネジメントまで多面的な授業となった。就職活動にはいる学生にとってより宿泊産業の実務をイメージしやすいように工夫した。 毎回の授業では、レジュメを配布し、レスポンスシートを提出することにより、授業ごとの疑問点などを解説・共有することを心がけた。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された		やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	本授業は通常の講義方式となり、学生の発表の機会がなかったものの、自由意見の中では就職活動に参考になる授業としての評価もあり、おおむね目標は達成できたと思料する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	レスポンスシートを提出させることにより、学生の参画意識を高めるとともに疑問点の解消に役立てるようにしている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今後は、学生に発表の機会を設け意見をまとめ、またレポート内容の質の向上を通じて知識の定着を図っていきたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	教育目標は達成されたと考えているが、「到達度自己評価のなかで、コミュニケーション力や表現力を高めることができた。」項目についての平均値が低かったので、今後、学習効果を上げるべく次年度に向け検討したいと考えている。

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
インバウンド観光論	4	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」56%、「単位数を確保する」67%となっております。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備を工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④学生たちに各国の文化地理、旅行に対する一般消費者の考え方、日本のイメージ及び訪日旅行の事例を分かりやすく紹介し、それらの事例を通して、日本におけるインバウンド観光の意義を理解してもらうことを工夫した。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は81.4点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、意欲関心に関しては100%、態度に関しては100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館とインターネットの利用に関しては、それぞれ11.1%、22.2%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. D P, C P, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
D P, C P, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①D P、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②C P、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「インバウンド観光論」となっており、観光産業界におけるホスピタリティを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価は良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」100%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」100%、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「インバウンド観光論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心、態度のレベルを高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マーケティング入門	2	前期	必修	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	マーケティングは、実際の企業経営の中心課題であるであるが、本学科のカリキュラムには「企業とは何か」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されている。その学習成果に加え、学生の興味喚起のために観光・旅行系などの企業経営、北九州市などの自治体など団体組織におけるマーケティングの役割の理解に重点をおいている。またマーケティングに興味・理解を促進するため、関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用すると共に、マーケティングの社会的な役割もしっかりと把握させる内容とした。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論を学んだ学生にマーケティングへの興味・理解をステップアップさせるために新聞・テレビなどのマスメディアやインターネット・SNSにおける経済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	この授業はあくまでマーケティングという学問への興味を促進することで企業活動がいかに展開されているかの理解を大きな目的としているので、映像情報、ビジュアル情報など多用し、興味から学習意欲の向上を促した。アンケート結果からは、到達度自己評価においてはほぼ達成したが、情報利用、学習量などの少なさが目立つ。今後はレポート、グループワークなど、この点の改善を図りたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	科目目標は達成されたと思われるレベルであるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	科目目標は達成されたと思われるレベルであるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。また、授業が開始されたにも関わらず、ヘッドフォンをつけて趣味動画を見ていた際、注意したところ、その学生本人か友人か不明だが、「標的にしている」、「怒る暇があるのなら授業しろ」という1名の自由記述があった。大学生にもなって何が重要かが理解すらできず、来年度授業オリエンテーション時に厳しい教育的指導を徹底する。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
広告宣伝論	3	前期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	広告宣伝は、企業経営・マーケティングの重要な要素である。そのため1年次の経営学入門の学習成果をもとに、2年次マーケティング入門、消費者行動論との継続、連動性を重視し、企業経営におけるマーケティングおよび広告宣伝の役割の理解に重点をおいている。また、広告への興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業経営を学習したことのない学生にマーケティングへの興味・理解をさせるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。本科目の特性として、実務科目ということもあり、社会、消費者動向変化に対応する最新性が重要であり、企業としての広告活動の実際を学ぶため、学外講師（広告会社）を招聘しての講義、思考・表現能力の向上を目指したテーマを与えた個人企画・プレゼンテーションをおこなった。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	体系的なカリキュラム構成による「経営」におけるマーケティングの理解が困難なため、あくまで「マーケティングにおける広告とは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容から達成されたと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	外部講師授業、課題など授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入し、問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等のさらなる養成も検討していく。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	外部講師授業、課題など授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入し、問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等のさらなる養成も検討していく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。企業経営・組織について知識の習得を踏まえた授業計画・内容としたい。

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
メディア政策論	4	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本授業は、2年次必須科目「マーケティング入門」、2年次選択科目「イベント・テーマパーク論」および「消費者行動論」、3年次選択科目「広告宣伝論」および「ブランド戦略論」などのマーケティング領域科目を学習した4年次生向け科目である。そのためそれらの学習成果を活かすテーマおよび内容とした。テーマは授業科目名「メディア政策」、とりわけSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）領域の学生自身が身近に捉えることができるものとした。内容としては、2～3の履修者、いわばZ世代のライフスタイルを多面的に紹介した文献、資料を題材にディスカッション中心で進行了。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績平均値・分布や授業評価アンケート結果からは、到達度自己評価においてはほぼ達成したが、情報利用、学習量などの少なさが目立つ。今後はレポート、グループワークなどこの点の改善を図る。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性は評価でき、アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	科目目標は達成されたとと思われるレベルであるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。今後の検討課題としては、受講生が20人以下と少なく、しかも、4年次前期ということもあり、就活で欠席する学生が散見されることである。これはやむを得ないことと認識しているが、本科目の開講曜日を必須科目「卒業研究」と同曜日にするなどの工夫が必要と思われる。

学科	観光文化学科
氏名	高野 雄史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネスと法	2	前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	法は社会ルールの1つなので、実際の社会生活の場面と関連させて授業を実施しました。具体的には、契約において自己が①消費者（利用者）側になる場面、②事業者（提供者）側になる場面など、日常生活で行われていることが、法とどのように関連しており、どのような具体的なルールが存在するのか意識してもらうことを重視しました。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された			達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	今年度は受講者全員が単位を取得することができました。また、授業後のコメントカードにたくさんの疑問や感想を積極的に記入していただき、それらの内容は授業で学習した視点で日常生活を見直したからこそ生じた疑問といえます。つまり、本授業を通じて、日常生活に法やルールの存在を意識することができるようになったと思います。また、レポート課題の内容や成績評価についても概ね良好でした。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	【結論】 本科目の位置づけからみた内容は妥当性であると思います。 【理由】 法は社会生活を送るうえで欠かせないものです。つまり、すべての人が社会のプレイヤーとして、商品やサービスの利用者になり、同時にその提供者にもなり得ます。その意味で、社会人としての教養としての法知識・法的思考を修得すること、および様々な法規範が存在する観光業で活躍する素養を修得できるものと考えているからです。また、授業評価アンケートの自由記述欄でも法について学びがあったことの指摘がされていました。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	【授業の進め方について】 昨年度と同様に順調に授業運営をすることができました。また、Googleclassroomの課題機能を利用して、学生から授業ごとの感想や質問を受けることができたので、授業準備に大きく役立てることができました。特に、授業終了時に用紙を強制的に回収する必要性がないことから、提出課題の記載内容がより充実したことは評価できます。別途回収した授業の感想でも概ね好評だったので今後も継続したいと思います。また、新しい出席システムが導入されましたが、学生さんに馴染みがないようで、指示を出しても上手く利用できない学生が多かったように思えます。そのため、出席票を使用して出欠確認をおこないました。 【授業以外の学習について】 毎年度「課題がなかった」「分からなかった」とのご意見をいただきます。授業のガイダンスでお話しました通り、学生の皆様が学校生活、アルバイトなど健全な社会生活を送っていただくこと自体が授業以外の学習ですので、実は授業以外の学習といえます。ですので、「取り組んでいない」というわけではありません。来年度もガイダンス資料にも明記して誤解のないようにしたいと思います。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	学生の皆さんには「法と社会生活の関係性」をテーマに学習いただき、授業目標を一定程度達成することができたと思います。授業後に何度か学生さんとお話をする機会があり、率直な感想をいただけたので大変参考になりました。特に今年度は履修者が全員単位取得できたことはとても良かったと思います。 貴学の学生は所属学部学科の関係で法を学ぶ機会は少ないと思いますが、法を学ぶ楽しさ、社会のルールに興味関心を持つことの重要性をお伝えできたと思います。また、積極的に授業課題に取り組んでいただき、西南女学院の学生の勉強への真摯さを感じ、とても嬉しく思います。もちろん、授業への自己反省・ご指摘を踏まえて、教材内容の更新・改善をまいります（例：事例や具体例のアップデートなど）。 毎授業ごとのコメントフォーム（授業課題）にたくさん記入していただき、ありがとうございました。わずかな時間でしたが楽しい授業の時間を一緒に過ごし、水1時限の朝早い時間からご受講をくださった学生の皆様に感謝を申し上げるとともに、これからのご活躍をご祈念いたします。あわせて、classroomなど授業環境を整えてくださった大学職員様にも感謝申し上げます。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本経済入門	1	前期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「マーケティング・経営・経済に関する科目」で、1年前期に配当されている科目である。受講動機をみると、「関心のある内容である」と答えた学生が69%とやや高く、この授業への期待が窺える。授業においては経済用語間の関係の理解を中心に、わかりやすい説明を心掛けている。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	やや達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	DP項目の平均値が3.7以上と比較的高い評価であること、また、学生の自由記述においても面白かったとコメントがあることを根拠として挙げるができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「専門教育科目」の「マーケティング・経営・経済に関する科目」で、1年次前期に配当されていることから、内容的には妥当であるとする。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：経済学の基礎を学ぶ上で「知識・思考・関心」といったDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であるとする。③以上より、内容的妥当性は問題はないとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては平均値が3.9～4.2とやや高いことから学習目標は十分に達成できたと考えている。今後は学生に発表の機会を設け、また学生が意見を述べる機会をより多く増やすなど検討したいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生が意見を述べる機会をより多く増やしていきながら、また難しい内容をよりわかりやすく説明するように、次年度に向け検討したいと考えている。

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際経済入門	2	前期	選択	はい	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	「専門教育科目」の「経済に関する科目」の一つである本科目は、1年次に配当されている「日本経済入門」の発展的内容を取り扱うことが予定されている。この点については受講動機においても「関心のある内容である」という項目が61%と相対的に高い比率を示していることから授業への期待を窺うことができる。各回の授業においては英語学科との合同授業であるため、わかりやすく丁寧なレジュメを作成・配付することで国際経済の基本的な知識を説明した。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	DP1～DP3の項目の平均値は3.6～4.0をマークしているため、全体としてはやや達成されたと考えることができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は1年次に配当されている「日本経済入門」の発展的内容を扱う科目であり、またDP全体の平均値は3.6以上をマークしていることから、内容的妥当性については特に問題がないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価については、「授業中に自分の意見をまとめる、話合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目の平均値が3.7と比較的低いものの、その他の項目の平均値は4.0以上であるため、授業の進め方については問題がないと思われる。ただし、今後は学生に対して発表の機会を設けるなどの工夫を検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全体として授業目的はやや達成されたが、今後は、学生に発表の機会を設け、意見をまとめ、またレポート等を通じて知識の定着を図っていきたいと考えている。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光フィールドワーク	2	前期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業は2年次配当であり、1年次後期にて「フィールドワーク入門」の授業の発展としてフィールドワークを実践することにより、卒業論文を含めた、3年次・4年次において行う各種調査研究について基礎的な知識を習得するものである。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		やや達成された	達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度自己評価において、平均値が4.2～4.6となり、おおむね達成されていると史料する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	「受講動機」については「関心のある内容である」が80.0%、「単位を確保する」が70.0%であった。グループワークについての興味が受講動機となっている可能性を示唆している。1 年次後期より連続性のある授業であり、カリキュラムマップについては妥当であると評価できる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	前半は「フィールドワーク入門」の振り返り並びに基礎的座学の復習を行い、中盤以降、フィールドワークの実地を行った。コロナ後のグループワークであり、学生にとってチームワークの醸成に寄与できた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	フィールドワークの事前学習についてスケジュールの都合上、短期間での実施となった。次年度以降は指導を強化していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
タウンマネジメント論	3	前期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機については「関心のある内容である」73%「単位数を確保する」67%であった。 学生にとって、街づくりというあらたな領域のため、具体例をあげながら説明し、後半はグループワークにより、より理解を深める内容とした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	やや達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度自己評価において平均値が4.0～4.3であり、目標についてはおおむね達成できたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本授業は3年次配当である。 受講動機において「関心のある内容である」と「単位数を確保する」が拮抗している状況であるが、DPにおいては配当年次相当のものを求めている、カリキュラムマップとあわせて、内容については妥当であると思料する。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業後半においてはグループワークとなり、各演習室に分かれての授業となったため、グループワーク発表まで各グループの進捗共有などが図れなかったことが課題として残った。次年度よりは改善を図っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業評価としては一定の達成度があったものの、グループ分けについて濃淡ができたために、学生に負担の差異が発生したことが反省材料としてあげられる。次年度は改善していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	必修	はい	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	授業はA、Bとクラス別であるが、ここ（リフレクションカード）は合同で作成している。成績入力対象者はA26名、B28名である。アンケート回答者はA17名、B19名。受講動機を高い順に示すと、Aでは①必修科目である（88%）、②資格取得に必要である、③関心のある内容である、④単位数を確保するが同数（6%）である。Bでは①必修科目である（95%）、②資格取得に必要である、③関心のある内容である、④単位数を確保するが同数（11%）である。⑤GPAを上げると⑥友人が履修しているが同数（5%）である。AよりBの方が積極的受講動機が強く出ている。教室内の学習活動に加えて、図書館の多読（英語）図書を使っの多読、E-learningのCHleruを使っの学習活動がある。予習前提の語学の授業であり、大半の学生が実際に取り組んでいた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	クラス別の採点対象者の成績を%で示すとAクラスは、A27、B31、C23、D4、E15である。Bクラスは、A18、B25、C36、D18、E4である。授業評価アンケートでは、到達度自己評価では、「（1）自分なりの目標を達成した」から「（10）職業選択の参考になった」までの10項目の平均値はAでは3.43、Bでは4.07であり、有意意味な差があったと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①1年生の前期の英語の必修科目である。英語が好きではない学生がいる中で、基本的英語能力を高めるためにも、入学最初の学期に当科目を置くことは、意味がある。2023年度入学生からは習熟度別のクラス分けによる授業ではないので、授業が始まるまでは、具体的には学生の個別の英語力は把握できないが、当科目は英語については高校の教育内容との高大接続的な意味合いもあり、基礎的英語力の足並みをそろえるためにも、この時期にこの基礎と名前が付く科目を置くことはカリキュラムマップ上妥当である。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方とその向上について ②授業アンケートの3. 授業の質評価では、5項目の平均は、Aが3.94、Bが4.12である。「(1)テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」については、Aが授業の質5項目中の最低の3.4、Bが授業の質5項目中の最高4.2である。両クラスの評価の差がなくなり、十分に理解されるように丁寧に対応する。Aクラスからは「字が汚くてなんて書いてあるのか分からなかったのもう少し丁寧にお願いしたいです(1名)」がある。これはおそらく多読レポートの添削であり、今後は丁寧に書きたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	総括的には、やや達成されたと考える。習熟度別のクラス分けは2023年入学生からなくなり、新クラス分けでの最初の学年が現2年生である。新しいクラス分けによりクラス内の英語力が非常に多様で、幅が広がった。上位層、下位層の両方から不平が出るものと思っていたが、自由記述には、それは見えなかった。学生の英語力を学年の最初に把握することを考えたい。また、予復習の予習時間については、一番多い層はABともに4回であり、予習0がAB共に3名である。予習0の層をなくすためにも、個別の指導を入れることが必要となる。

学科	観光文化学科
氏名	ブラウン馬本 鈴子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初級英文講読	2	前期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	選択科目であるこの授業において受講動機において特筆すべきことは、「単位数を確保する」を選択した学生が36%、「単位数を確保する」64%であり、「関心のある内容である」が55%であった。去年は、「関心のある内容である」と回答した学生の割合が7割であったことを考慮すると今年はやや受動的な態度で履修を選択したことが多いことが伺えた。授業の実施にあたり、去年の経験から観光文化学科では、英語専攻の学生とは違い、いろいろなレベルの学生がいることを想定していたので、基礎的な学びが必要な学生から、さらに上を目指す学生にも対応できるように学生のレベルごとに問題がカスタマイズされるオンライン教材を使用した。オンライン教材やオンデマンド授業に関して、初めての実施であり暗中模索の状況から始まったが、対面授業の日に、オンライン教材の補足説明や技術的な問題を解決させたり、各個人の進捗状況を個別面談して確認、アドバイスを行なった。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	定期試験の結果は、A40%, B27%, C20% D13%であった。（去年は対面授業で別の教材で、A18%, B37%, C23% D16%, J6%であった。）正規分布ではなかったが、毎回確実に期限内に課題をこなしていったかということと、最後に行った実力試験で差がついた。 「学習到達度の評価」は(1)3.5(2)3.9(3)3.1(4)3.8(5)3.5(6)3.7(7)3.8(8)3.1(9)3.0(10)3.2とどの項目も去年よりも低くなってしまった。 （去年は、(1)4.1(2)4.3(3)4.2(4)4.1(5)4.0(6)4.1(7)4.1(8)4.1(9)3.8(10)3.7であった。） 英文を読むときにパソコン上では頭に入りづらいという意見も学期中に学生に聞いたときに教えてくれたこともあった。色々なものが電子化される世の中なので、紙面上でないと理解しにくいという気持ちは理解できるが、徐々に慣れていく必要があるのととりあえず、長文はプリントアウトするようになどとアドバイスした。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容妥当性：初級レベルの英文読解力向上に特化した内容を扱っており、学生の動機も明確であるので、妥当である。②DP、行動目標からみでの内容的妥当性：内容的に妥当である。③問題なし
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価の結果は、(1)3.6(2)3.5(3)3.6(4)2.5(5)3.4（去年は(1)4.4(2)4.4(3)4.2(4)4.4(5)4.3であった。）特に評価が低い(4)は「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表し合う学生が参加する機会が作られていた」であった。オンライン教材メインで行う授業であったので、発表や発言の機会などは設けていなかったで想定内である。しかしながら、オンライン教材、オンデマンド授業について別にフォームによるアンケートをとったときは、100%の学生が、オンライン教材、オンデマンド授業ともに「また履修したい」と回答した。今回の授業設定が、オンデマンド授業なのか、対面授業なのか、という焦点が曖昧でそれぞれの良さを活かしきれなかったことと、オンライン教材を最大限に効率よく使用する経験が教員側に十分でなかった（今年度が初めてで実験状態だった）ことを反省したい。自由記述は今回はあまり多くなかったが、「この授業が大好きです」とコメントしてくれた学生もいた。また、「紙に書いたのをみながら解いてました」「英語の表現など気になったことについて自主的に調べるなどした」という意見もあった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の成績（15回目の英文読解実力テスト）と教員の見通しを総合的に判断して「やや達成」と評価する。成績は、オンライン教材の学習状況だけでいえば、ほとんどの学生が課題をこちらが設定した量、合格点においてクリアしていた。最後の日に行った英文読解実力テストは、オンライン教材の形式に似た実力問題であったがここでできる学生とできない学生の差がついた。理想的には、オンライン教材への取り組みと実力テストが比例すべきであるが、オンライン教材の課題の設定状況（量、合格点、取り組み時間など）がこちらの経験不足で甘かったのだと思う。この経験を今後に活かしたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ基礎	2	前期	必修	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	授業評価アンケート回答者17名。これは受講者32名のおよそ半数弱である。2年前期の英語の必修科目である。授業では次の三つのプロセスを押さえた。 1. 授業でE-Learning のCHleruのダイアログとモノログをE-Learningで行う。2.それについてのプリントを配布して、それを次回授業までに調べておく。 3. 次回授業でプリントの音読と課題を確認をする。学生は、1と3を授業で、2を授業前にするという規則的なパターンで学習習慣を身につけるようにさせた。2.で、プリントをしておくということで、学習準備ができていることがどういうことであるかを確認した。授業評価アンケートでは、4. 学習量の評価では、「（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、①0回が7名で最多である。事前の学習が0が7名という事実には対策が必要となる。しかしながら、自由記述として、4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として7名の記述があるが、その中には授業課題をしていた者もある。自由記述の4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習には9名が答えており、授業の予復習に当たる学習をしていたことが確認できる。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された			どちらともいえない	どちらともいえない
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績を％で示す。A13、B38、C31、D9、E9である。毎回授業最初に小テスト(英語の書き取り)をしているが、授業を追うごとに正答率が上がっているのが例年の傾向であるが、今回はそうはならなかった。やはり予習の取り組みがなされていない層が受講生の四分の一強いたことによるであろう。学習到達度の自己評価は10項目の平均で3.5である。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	英語の必修科目の並びとしては、英会話系を除くと、1年前期から基礎英語、応用英語、マルチメディアイングリッシュ基礎、マルチメディアイングリッシュ応用と2年後期まで続く。授業目標の中の二つは、2 TOEIC の400 点レベルのリスニングができる。3 基本的な母音と子音の聞き分けができ、その正確な発音ができるとなっている。この目的を達成するためには、2 年前期にこの科目をカリキュラムに置くことは妥当と考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	予習をしない層をなくすることが最優先であるが、なかなか進まない。学生の意見としては、担当教員への意見として、1. 説明もわかりにくく、有意義とは言えない時間が90分あるだけのように思えた。とても退屈だった。2. 本当に担当者のやり方がわかりずらすぎてよく戸惑ってしまいました。特に音声入力は訳が分からない生徒が多くよく混乱していました。もっとスムーズに授業が進むようにしてほしいです。貴重な意見としていただきました。分かりやすい説明を心がけたいと思います。どのようにすると、語学授業で30名を超える多様な受講生に分かりやすい説明ができるかは課題です。更にPCに慣れていない人たちがPCをオンオフから始める必要がある層もいますので、対策を考えたいと思います。学習の質の5項目の平均は3.42である。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	やや達成されたと考える。しかしながら、いろいろな背景の学生が学年全体におり、当然ある程度の情報リタラシーがあるという前提での授業が困難になってきています。先ずはそのバリアを取り除くためには、授業外に、例えばオリエンテーション期間に、学内転学部、転学科、編入学生等を対象として、この授業に対する講座を設けることも考えられる。新カリではなくなる科目であり、2025年度で最後となるので、可能な限り単位を得てもらえるように分かりやすい説明を心がけたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中級英会話	2	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	This course is a 4-Skills based class. In this class, students practice reading, writing, listening and speaking in balance. In addition to focusing on vocabulary and dialogue drills for listening and speaking, students were also expected to perform situational role plays for in-class assessment. The textbook exercises thoroughly helped students to learn, practice and produce specialized language relevant to their tourism studies.
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP 1）	思考判断（DP 2）	意欲関心（DP 3）	態度（DP 4）	技能表現（DP 5）
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	Assessment was made based on in-class participation (15%), quizzes (20%), presentations (20%), and a final test (45%). Most students were able to achieve a final grade of 70-90%.					

5. D P, C P, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
D P, C P, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	Students took advantage of helping and receiving help from other class members, and by working together in pairs. Good classroom dynamics helped to create a positive and "safe" class atmosphere in which students could feel more comfortable taking risks when performing situational role plays. This, in turn, contributed to a high level of experimentation and very nuanced understanding of the material. While a lot of material was covered over the course of the semester, students seemed satisfied with pace and progress of the class.
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	Review of the previous class material is always useful, but often took time away from new class material and practice. By posting all pre-study and post-review materials in the online learning management system, students had ample opportunity for review and self-study. This proved to be especially helpful as students greatly benefited from reviewing target language and skills for each unit at their pace. All audio files were given to the student, so they had full access to listen and practice shadowing at home. In addition, flashcards were made for students to have digital access to practice unit vocabulary lists at any time.
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	As class material was covered at a fairly rapid pace, students should be encouraged to review lesson targets again, and prepare for the next class using the pre-study material posted in the LMS for homework. Vocabulary review quizzes and small online assignments will be added to the curriculum next time to ensure that students are motivated to keep up on their studies.

学科	観光文化学科
氏名	十時 康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門TOEIC演習	3	前期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機を見ると「関心がある内容である」が73%、「単位取得のため」が61%でしたので、英語に対しても関心を持って受講してくれたのが分かります。それもある、受講生は授業中の取り組みはもちろん、課題のノート提出についてもきっちりとこなしてくれました。授業ではTOEICに向けて頻出、かつ時間対効果の高いパートに絞って学習をしました。一人留学生がおりましたので、分かりやすい言葉で説明することにも心を砕きましたが、自由記述で「はっきりと理解できました」とコメントをもらいましたので、その点はよかったと思います。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	学生の到達度自己評価を見ると中央値5点の項目が4つありました。授業外の学習が少なかったのは残念ですが、自由記述にある通り「授業に集中して理解ができた」というコメントもあること、また期末試験の平均点も7割程度でしたので上記の評価としました。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	英語に関心のある学生が多く受講して、授業中の取り組みも真面目でした。学習到達度の自己評価も平均が4点台でしたので内容的には妥当であると判断いたします。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質の評価は各項目平均4.5以上でしたので大きな問題はなかったと自覚しております。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	授業外の学習量がやや少ないように思いますので、復習テストなどをして復習への意識づけをしたいと思います。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
入門英語通訳ガイド演習	3	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	成績対象者12名、授業評価アンケート回答者4名である。シラバスの授業概要では、The class will cover the communication skills necessary to explain Japanese culture to non-Japanese tourists or foreign people interested in Japan. This will be achieved by practicing a variety of functional/grammatical listening activities, vocabulary exercises, interactive pairwork, and group discussions. としている。カリキュラムでは英語に関する能力育成科目（17科目）中の上から二番目の位置に置かれており、基礎的な英語力が前提となっている。予復習時間については、予習がゼロ回1名、4回以上が3名となっている。Google Classroomで予習範囲をしたことを写真で提出。また、リスニング課題はグループ別に出させた。提出率は最高で90%であり、平均して75%程度であり、非常に意識が高い受講生が多かった。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績を%で示す。A33、B58、D8である。到達達成度の自己評価は10項目の平均が3.3である。しかしながら、定期試験の記述式の部分では正答率は高くはない層もいたことで、やや達成されたとした。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機を%で示す。③関心のある内容である（75）、④単位数を確保する、⑥友人が受講しているが同数で、25である。③が多いのは、3年前期であり、将来のキャリアのためにも受講していることが分かる。以上のことから、本科目の位置づけは妥当であると考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	四分の一の受講生の授業評価であるが、予習なしで受講している学生がいることは把握できるので、この層をなくしていく必要がある。現実的には予習をしない層は途中で消えていっていると思われる。授業の質評価では5項目の平均は3.18である。自由記述には3名分があり、4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として、1. 授業の予習に時間を当てていたから、2. 授業の内容で満足してためとある。4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として、ずっと英語の試験を準備していますとある。3年生の選択科目であり、非常に高い動機づけがなされている層が厚いのではないかと推定できる。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	やや達成されたとした。毎回の授業最初の英語の書き取りのテスト（小テスト）では高得点の層と、極めて低い層と二分化している。低い層は基本的な語彙の理解に達していない。おそらく、その層は受講動機が④単位数を確保するとなっている層であろう。3年生以上であり、単位を揃える選択肢が多くないので仕方がない履修なのであろうが、当科目は英語に関する能力育成科目（17科目）中、時期的には上位から二番目の位置づけであり、それ相応の準備性が必要であることをオリエンテーションで理解してもらう必要がある。

学科	観光文化学科
氏名	Andrew Zitzmann

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム英語	3	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	The aim of the course was to introduce them to various tourism related situations in which English would be used. 86% of the students had chosen to take the course as it was of interest to them. The course aimed to be more practical by providing ample opportunities to interact in English as well as with the use of role plays. It also hoped to have them use knowledge from previous studies to make their English learning more relevant to their overall goals.
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	The students participated actively in the course activities, which is reflected in almost all students receiving scores of A or S. Their evaluations of their goals and motivation were on average 4.0.					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

After a couple of years of studies in tourism, providing the opportunity to use English in a more practical format seems appropriate and relevant.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Everything went well this semester and as already stated above their motivation and results are well reflected in their final evaluations.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

The course was a success. Although there are some minor adjustments that could be made for the following year, I will not be in charge of the course.

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
入門中国語会話	1	前期	選択	いいえ	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 1年生を対象とする授業である。ほぼ全員が初めての中国語の学習なので、中国語の特徴や学習方法を十分に説明する必要がある。まず中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して中国語の話し方、習慣の表現等の特徴を理解し、応用能力を身に付けてもらう授業を行っている。更に中国語に対する理解を深めるために、中国の歴史、文化、中国事情等を適宜に紹介した。 2. 学習者の学習への勉強意欲を高め、学習状況を確認するために、ユニットごとに確認テストを行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は88点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達したのである。学生による授業評価においては、「知識を確認修正したい、新たに得ることができる観点での自己評価にかなりそうだと思う」、「新しい知識を身に付けたと考えられる」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においては5，0と高かったので、中国語コミュニケーション力や表現力の高かった技能表現に達している。 学修評価の指標については、わからない単語等は図書館を利用して調べたりした。身の回りの標識などの中国語を読むようにしてきた、自主学習した、自分の言いたいことを中国語で考えたり、読んでみたり等挑戦してみたという授業評価が多くあったため、授業の目標に達したと思う。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラム上の位置付けから見ての内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」であるが、内容的に妥当であるとする。更に異文化コミュニケーション、多言語の領域でもあるが内容的に妥当であったと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、「テスト、レポート提出物等の評価基準は明らかであった」、「期間内に行うべき学習範囲や課題は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」、「授業中に自分の意見を纏め、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」等については5, 0と高かったと示されていた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目及び異文化コミュニケーションの科目の位置付けから、基礎的知識を概ね身に付けているが、次の中国語の授業を引き続いて指導する予定である。学生に中国語の総合応用能力を身に付けてもらっている。次年度により綿密な授業への工夫を凝らしていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
実用中国語会話	1	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 実用中国語会話の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の40.0%を除いて、②「資格取得に必要である」は27.0%で、③「関心のある内容である」は80.0%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。 2. 受講人数が16名で、語学の初級としては授業しやすい環境だと思います。学生一人一人に対して十分に指導が行き届くことができました。 3. 「コミュニケーション力や表現力を高めた」は4.3の数値で、学生の意見や表現力が十分に到達したことが伺えます。今後の授業において、このままの状態を維持し続けて、学生間の会話ができる場面を増やしていくことを工夫したい。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	1. S評価は1名、A評価は10名、B評価は3名、C評価は2名で、最終的な成績の平均値は「81.0点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。 2. （DP-1）の知識理解をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わすことができる能力を初歩的に習得していた。 3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週2回復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。 4. 自発的学習については、自ら進んで取り組んだのは11名であり、また中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習することは評価するべきです。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点4.3数値、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は4.3の数値、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は4.2の数値であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	1. 「授業の質の評価」について、「自分の意見をまとめ、話し合う発表するなど学生が参加する機会が作られた」は4.5の数値、また「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られた」は4.5の数値で、数値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。 2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。 3. 「図書館やインターネット等の利用」は、授業関連の内容はあまり利用していないことが見られます。今後、授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	1. 実用中国語会話は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。 2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。 3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を身につけられるよう、養成していきたい。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中級中国語	2	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	専門教育科目に当たる中級中国語は、観光文化学科における教育の骨格となる分野の習得を深める科目である。中級中国語能力の養成が重点に置かれている。具体的には、中国語の会話、基本的文法を学習する上に基礎的な知識理解や技能表現等の総合能力の育成を目指した科目である。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	達成された	達成された			達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は90点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達した。学修による授業評価においては、「説明は理解しやすいものであった」等の項目は5、0と高かった。次年度にしっかりコミュニケーション練習時間と復習時間を図っていきたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は専門教育科目であり、後期における上級中国語に繋がっている科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるため、内容的妥当性には問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の到達度自己評価や授業質評価においては、ほぼすべての項目は5, 0と高かった。次年度に学生に事前に予習復習を徹底的にするよう促したい。また、しっかり基礎的な知識を身に付けてもらうために、中国語で作文や日記等の課題を継続的に実施していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目に当たる本科目の位置付けから、基礎的な知識の形成については概ね達成できたが、表現力、総合的な応用力では、課題を残した。しっかり復習時間を図りたい。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用中国語	3	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	応用中国語の授業の履修生は3年生であり、少なくとも中国語を1年以上学習した経歴を有する学習者であるため、授業では基本的に中国語会話やハイレベルの文法の学習を行った。本授業を通して、実用応用能力を身に付けてもらうためである。学習者の学習意欲を向上させるために、毎回中国語で会話練習や小テストを実施して、知識の達成度を確認してきた。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は91点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したのである。学生による授業評価においては、すべて5、0と高かった。中国語コミュニケーション力や表現力が高い知識理解に達している。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は専門教育科目であるが、内容的に妥当であるとする。更に異文化、多言語の領域でもあるが、内容的には妥当であるとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業質評価においては、すべての項目は、5, 0と高く示されていた。但し、次年度は、指導方法や教科書の選定等について、じっくり検討して改善していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目の位置付けから、基礎的な知識を概ね身に付けているが、学生に中国語の総合的な能力を向上させるために普段の復習予習をより綿密に促す工夫が必要がある。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習	4	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	専門教育科目に当たる中国語通訳ガイド演習は観光文化学科における教育骨格となる分野の習得を深める科目である。中国語通訳ガイド演習の力の養成に重点が置かれている。具体的には中国語通訳の基本的技術を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力、翻訳通訳技能の養成を目指した科目である。学生の中国語の水準はあまりに異なっているため、授業の進め具合は相当難しかった。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された		達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は70点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的なレベル（概ね85点）に達したものは5名しかいなかった。学生による授業評価においては、それぞれの項目は4，0と5，0と高かったが、到達度自己評価全項目は4，0の評価となりやや低かった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」であるが、観光文化学科の領域をつなぐ要の位置にあり、中国語通訳案内士等の資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野への理解に応えるように工夫し、学生も一定の成績を収めていることから内容的には妥当であると考ええる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、すべての項目の平均が4, 5と4, 5とやや高かったが、次年度練習量と課題の技術能力を向上させることを改善していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は「専門教育科目」の位置付けから、基礎的な中国語知識の形成については、概ね達成できたが、表現技術の面では課題を残し、より綿密な復習時間と練習時間が少なかったため、次年度に改善を図りたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジア文化交流研修 A	1	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	アジア文化交流研修Aは中国語や中国文化を学習する授業である。大学で12回授業を行い、中国の大連大学へ2週間文化交流研修を実施することである。中国を理解するために、研修へ行く前に大学で現地の生活に必要な中国語会話や中国及び大連の歴史、文化、社会等を学習することが重点に置かれている。更に大連大学での研修期間に大連の観光や中国人の大学生との交流、大連にある日本企業（ANA,キャノン）への見学、在北九州の事務所への訪問等をも実施してきた。中国での勉強は異なる文化や国際化についての理解を大いに深めることができた。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達したが、理想的なレベル（概ね90点以上として試験作成）に達したものは8名となった。目標別にみると、到達度自己評価は「自分なりの目標を達した」は5,0となり、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」は5, 0となった、学習量の評価（4）授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習については家で中国の観光地などについて復習した、中国の歴史や文化で自分が気になったことがあったので、調べたりした等という答えが多かった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」であり、異文化交流に関する科目を繋ぐ要の位置にあり、選択科目である。学生も一定の知識や成績を収めていることから、内容的妥当性には問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業質評価においては、「レポート、提出物等の評価基準は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」などが評価値4, 5とやや高かった。毎回課題を解決する際に知識を明示することに工夫を凝らした。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	専門教育科目において、異文化交流を理解する科目であるが、毎回の狙いを具体的に示すことが必要であると考え。次年度は可能な限り課題をより綿密に指摘するを行いたい。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
比較文化論	1	前期	選択	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	世界国々と日本の文化について、毎回1つのトピックに縛って比較をしながら授業を進めてきた。特に中国と日本の文化について、長く悠久な文化交流の歴史があったため、多様な文化が共生共存できる社会を構築するには、どのようなことが必要であるのか、学習者に何ができるのかを意識をしてもらった授業である。毎回のテーマから何を学んできたのかを課題として探ってもらう工夫を凝らした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された			達成された	やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は88点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的なレベルに達したが、理想的レベル（概ね95点）に達したものは24名となった。 目標別に見ると、意欲関心は85%、態度に関する問題は78%しかなかった。与えられた課題を解決する問題に知識をどのように応用するか、また異文化に対する意識に対して十分に示している。 授業評価の指標については、学生から授業の課題のみで復習は十分であった、授業で課された課題を調べることで多様な面について新たにすることができた、授業の復習で、気になったことを自分なりにインターネットなどで調べた、という評価が多く示されている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」であるが、異文化コミュニケーションを繋ぐ要の位置にあり、選択科目である。内容的には妥当であるとする。成績評価から知識理解に関する達成度が比較的に高かった。その領域の成績から見て内容的には妥当であったとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4, 5～5,0と高かった。事例を取り上げて検討をする機会を作ったが、じっくり考えてもらう時間は十分にとることができなかった。次年度に向けて、知識理解の目標を具体的に示すうえで、授業に参加するよう促していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	専門教育科目としての本科目の位置づけから、基礎的な知識や異文化コミュニケーション能力については概ねに達成できたが、知識理解の面では課題を残した。この点は次年度じっくり検討を加えていきたい。復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅰ	2	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1年次開講科目である「映画で学ぶ世界遺産」、2年次前期（同時期）開講科目である「海外旅行実務」をほぼ全て受講生がこの2科目を受けているため、内容が重複しないように心がけた。一部の学生が国内旅行業務取扱管理者試験にすでに合格しているため、その学生たちが、この科目を受講することで総合旅行業務取扱管理者試験の対策になるように、試験頻出の内容については、細かく解説を行った。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない	どちらともいえない				どちらともいえない
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	受講生のうちの半数を超える学生が「優」か「秀」であったが、2名の学生が「不可」であった。成績にバラツキがあり、理解が十分にできていない学生が、重要なポイントだけでも理解できるような丁寧な授業を行うべきであったと反省をしている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	総合旅行業務取扱管理者を受験する学生が受講しており、この点から見ると妥当であると思われる。また、文化関連科目との連携もとれており、受講生は欧米文化についてさまざまな角度から理解できるようになっている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	昨年度の反省から、この授業では全受講生によるプレゼンテーションを導入した。その成果があり、学生たちは自分たちで調べることの喜びを表していた。このように、プレゼンテーションについては来年度においても引き続き実施をしたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	まず、「不可」となった受講生がいたことについては、大いに反省をしている。次回は、授業をどんどん進めていくのではなく、何度も立ち止まりながら、それまでの内容の理解が進んだかどうかを確認しながら、丁寧に授業を進めていきたい。特に、重要なポイントについては、しつこいくらいに説明を行いたい。

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「関心のある内容である」62.5%、「単位数を確保する」75.0%となっております。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は88.8点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、技能表現に関する問題は100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館とインターネットの利用に関しては、それぞれ4.1%、32%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、技能表現に関する達成度が割と高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化地理Ⅰ」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かった。「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」100%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」95.8%、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が91.6%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理Ⅰ」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
インターンシップ	3	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機の中でも「関心のある内容である」が80%と多くを占めており、就職活動を踏まえてのインターンシップとなるように前半で座学を中心に後半は各自で興味のある業界・企業を探索しながらキャリア形成につながるように授業を行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	やや達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業参加度も高く、到達度自己評価においてはすべての中央値が5.0、授業の質評価の中央値がすべて5.0であった。このことから、おおむね達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本授業は3年次配当であり、就職活動にむけた実践でもあることによりカリキュラムマップにおいては妥当であるとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	アンケートによると、学生自身での企業研究に時間がかかっていたことが伺え、今後は就職課等とより協業体制を組むように改善していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業としてはおおむね問題なく進めた。 毎年 先行の早期化の傾向が強まっており、インターンシップがより重要となることに鑑み、授業内容を充実させていきたい。

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネス演習	2	前期	必修	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「演習・研究科目」に位置づけられており、2年次前期の必修授業として配当されている。受講動機をみると、「必修科目である」と答えた学生が90%と高いが、一方で「関心のある内容である」と答えた学生は24%と低いことから、履修前に授業科目の説明をおこなう機会を設けることが必要と考える。科目名にあるように本科目は学生がどのような業界に就職するにしても、社会人として必要なビジネスマナー、キャリア形成の考え方、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶことから、身近な例を挙げながら丁寧に毎回の授業をおこなっている。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	到達度自己評価におけるすべての項目が3.8以上となっていることから、教育目標はやや達成されたと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「演習・研究科目」であり、ビジネス上必要となる基礎知識を習得する貴重な機会を提供している。1年次後期におこなわれる「ツーリズム演習」を観光系の演習科目として位置づけるならば、2年次前期におこなわれる本科目は、ビジネス系の演習科目として捉えることができるため、内容的には妥当であると考え。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：演習・研究科目であるから、すべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であると考え。③以上より、内容的妥当性は問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目は履修する学生がどのような業界に就職するとしても、社会人として必要なビジネスマナー、キャリア形成の考え方、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶ貴重な機会となることから、できるだけ具体的事例を踏まえながらわかりやすく丁寧に毎回の授業をおこなっている。授業の質評価において、平均値がすべて4.1以上と高い評価を得ていることは、この裏付けと捉えることができるだろう。ただし、授業中に意見をまとめたり、グループワークをするといった点においては数値が低いため今後改善して行く必要がある。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	上記DPおよび授業の質評価を総合的に勘案して、教育目標はやや達成されたと考えている。今後はこれまであまり実施していなかった授業に関するコメントカードなどをGoogleフォームなどで利用し、より質の高い授業をおこなう予定である。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	理論と実践をうまく連結させるようにした。まずは、フィールドワークに関する理論を徹底的に学び、次にそれを身近なところで模擬実践し、最後に本格的なフィールドワークを実施した。この連結がうまくいったため、学生たちは現地でスムーズに調査を行っていた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	受講生の成績が全員「秀」か「優」であった。これが達成できたのは、前述のようにスムーズに現場で調査ができたことによるものである。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	妥当である。受講生たちは、見事に2年次までに学んできたことを総動員して授業に臨んでいた。これをそのまま援用して、卒業研究の執筆につなぐことができる。受講生には、そのようなことを再認識できるように説明をしたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生のコメントを読んでもみると、この授業に関しての自宅での学びが十分に行われていないようである。毎回のように課題を出していたが、学生にとってはその課題がすぐにやり終える程度のものであったのかもしれない。後期には、課題の内容を再検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	前期に理想的なゼミ運営ができたので、同じようにして後期も進めたい。ただし今度は、受講生の潜在的な可能性に期待をして、前期以上の高い目標を掲げて、それに向かっていきたい。具体的には、全ての学生に何らかの責任を持たせてプロジェクトを決めて推進していくことを計画している。

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	対面における文献輪読を中心にマーケティング、広告宣伝、メディアの理解を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。文献輪読に関しては本年度も「デジタルマーケティング」をテーマに、各テーマごと内容の発表と関連事例を発表させた。また、社会経済状況の把握のために新聞掲載記事（経営・マーケティング領域を中心）の学生地震による進行発表・解説・ディスカッションも行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるため達成されたと評価する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質など項目について概ね中央値であるため内容的妥当性はあると評価する。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	就職活動指導とマーケティング理論と実践活動の時間的配分は事前にオリエンテーションを行なったが、実践活動について社会人との調整交渉に予定外の時間を費やさざるを得ないケースがあった。社会人との議論調整によりこの課題を解決したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	グループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入を考えているが、就職活動にも資するようなディスカッションを取り入れ、さらなるコミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「演習・研究科目」に位置づけられており、3年前期に必修科目として配当されている。本科目は学生のこれまでの学習の関連性を踏まえながら、専門分野に関する深い知識、思考力を身に付けられるように丁寧に授業をおこなっている。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	10項目のすべてにおいて4.3以上の評価となっているため、教育目標は全体としては達成されたと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「演習・研究科目」であり、4年次に「卒業論文」を執筆するために必要となる基礎知識を習得し、またその素養を高める貴重な機会を提供しているため内容的には妥当であると考えます。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：演習・研究科目であるから、すべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であると考えます。③以上より、内容的妥当性は問題はないと考えます。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	1～2年次の演習・研究科目と卒業論文の執筆との間に位置づけられる本科目は、これらの繋ぎの科目としての役割があるが、到達度自己評価が高いため、一定の成果があったと考えている。しかし、今後もさらなる授業の質向上に向けて内容の検討をしたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業の質評価はすべて5.0であったが、今後も授業の質向上に向けて随時、内容の検討をしたいと考えている。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	9月に実施される国際学会の学生発表に向けて、学生自身にて計画立案および発表内容できるような指導に重点を置いた。 実社会に向けて通用する発表・ディスカッションの内容にするよう時間を割いた。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価のすべての項目について5.0、授業の質の項目については1項目を除いて5.0であったことにより、達成されたと評価する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	グループワークを中心に授業を進めた。コミュニケーション力、プレゼンテーション能力の向上に務めたが、専門演習Ⅱ・卒業演習につながる論理的思考の強化も行っていきたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	発表内容の作成について、個人の受け止めに濃淡があった。グループワークを実施するにあたり、平準化を進めていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	発表内容の作成について、個人の受け止めに濃淡があった。グループワークを実施するにあたり、平準化を進めていきたい。